



平成 23 年度 尾道市総合計画後期基本計画

市民満足度調査の結果



尾道市では、尾道市総合計画後期基本計画の策定に当たって、5年前の前期基本計画策定以降の施策目標の達成状況、今後の目標設定の方向性等に関する市民の評価・意向を把握するため、尾道市民を対象としたアンケート調査（市民満足度調査）を本年6月に実施しました。

この冊子は、調査結果の概要を市民の皆さまにお知らせし、今後の尾道市のまちづくりとともに考えていくための基礎資料として活用するものです。

## 1. 調査の実施概要

調査の実施概要については下表のとおりです。尾道市民 3,000 名の皆さまに調査票を発送し、1,374 名の方から回答をいただきました（有効回収率は 45.8%）。

①調査の目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>前期基本計画での施策目標の達成状況、今後（後期基本計画）の目標設定の方向性等に関する市民の評価・意向を把握し、後期基本計画策定の参考とする。</li> </ul>																												
②調査の対象、抽出方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>尾道市内に居住する18歳以上の市民 3,000名 （旧尾道市 1,824名、御調町 149名、向島町 289名、旧因島市 552名、瀬戸田町 186名）</li> <li>住民基本台帳データから、地区別人口比を考慮し、統計的な手法に基づいて無作為抽出</li> </ul>																												
③調査の実施方法・時期	<ul style="list-style-type: none"> <li>郵便等による配布・回収</li> <li>実施時期：平成23年6月1日（水）～6月15日（水） ※調査票は5月31日（火）発送 （期限超過返送分も考慮に入れた最終締め切りは6月末）</li> </ul>																												
④回収状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>有効回収数 1,374件（有効回収率45.8%）</li> </ul> <table border="1" data-bbox="587 1738 1216 1953"> <thead> <tr> <th></th> <th>発送数</th> <th>回収数</th> <th>回収率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>旧尾道市</td> <td>1,824</td> <td>827</td> <td>45.3%</td> </tr> <tr> <td>御調町</td> <td>149</td> <td>61</td> <td>40.9%</td> </tr> <tr> <td>向島町</td> <td>289</td> <td>132</td> <td>45.7%</td> </tr> <tr> <td>旧因島市</td> <td>552</td> <td>252</td> <td>45.7%</td> </tr> <tr> <td>瀬戸田町</td> <td>186</td> <td>88</td> <td>47.3%</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>3,000</td> <td>1,374</td> <td>45.8%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※回収数の合計には、「住所不明」14件を含む。</p>		発送数	回収数	回収率	旧尾道市	1,824	827	45.3%	御調町	149	61	40.9%	向島町	289	132	45.7%	旧因島市	552	252	45.7%	瀬戸田町	186	88	47.3%	合計	3,000	1,374	45.8%
	発送数	回収数	回収率																										
旧尾道市	1,824	827	45.3%																										
御調町	149	61	40.9%																										
向島町	289	132	45.7%																										
旧因島市	552	252	45.7%																										
瀬戸田町	186	88	47.3%																										
合計	3,000	1,374	45.8%																										

※本文中の回答構成比は、四捨五入の処理のため、合計が100%にならない場合があります。

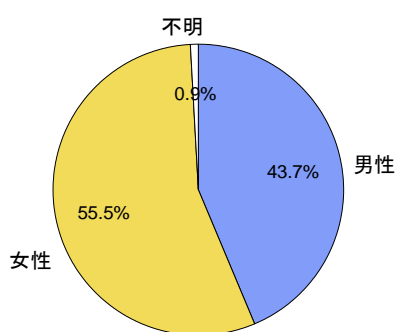
## 2. 回答者の属性

回答者の方の性別、年齢等については以下のとおりです。

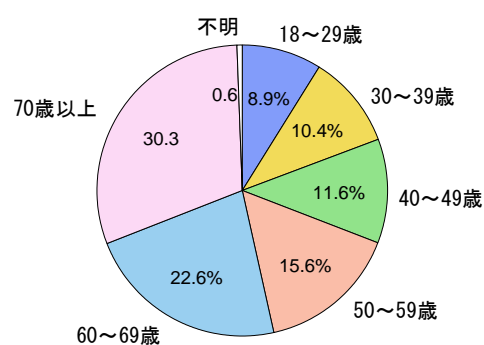
性別は「男性」が44%、「女性」が56%と、女性がやや多くなっています。年齢は「60～69歳」が23%、「70歳以上」が30%と、半分強が60歳以上となっています。

住所は「旧尾道市」が60%、市内居住年数は「20年以上」が78%と大部分を占めています。家族構成は、「夫婦のみ」が28%、「本人(夫婦)と子ども(夫婦)の二世代」が21%と多いですが、単身世帯を含め、比較的いろいろな家族構成に分散しています。

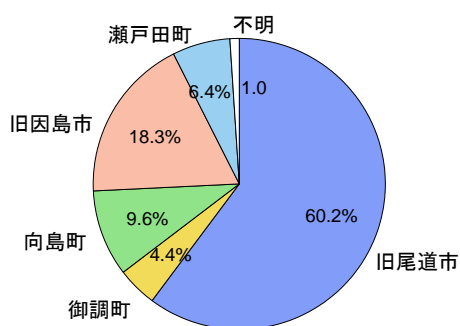
性別



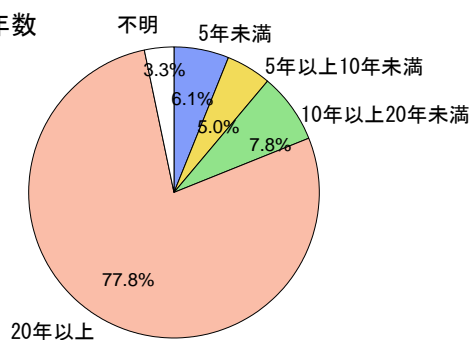
年齢



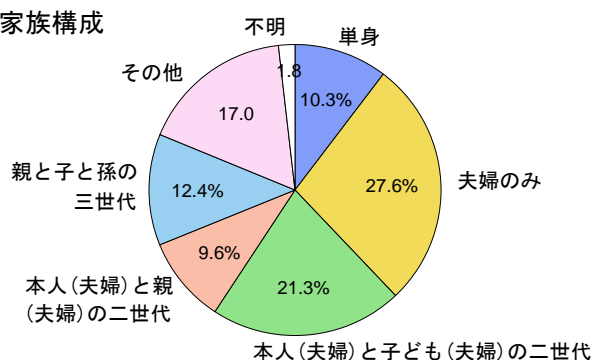
住所



市内居住年数



家族構成



住所別の回答数、性別、年齢

	回答数	性別 (%)			年齢 (%)						
		男性	女性	不明	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	不明
旧尾道市	827	44.0	55.1	0.8	10.2	12.1	12.8	16.0	20.8	27.9	0.2
御調町	61	41.0	59.0	-	8.2	8.2	8.2	13.1	27.9	34.4	-
向島町	132	44.7	54.5	0.8	10.6	6.1	14.4	12.1	22.7	33.3	0.8
旧因島市	252	44.0	56.0	-	5.6	9.9	7.1	18.3	27.4	31.3	0.4
瀬戸田町	88	42.0	56.8	1.1	4.5	4.5	12.5	11.4	20.5	45.5	1.1
合計	1,374	43.7	55.5	0.9	8.9	10.4	11.6	15.6	22.6	30.3	0.6

### 3. 政策目標に関する評価



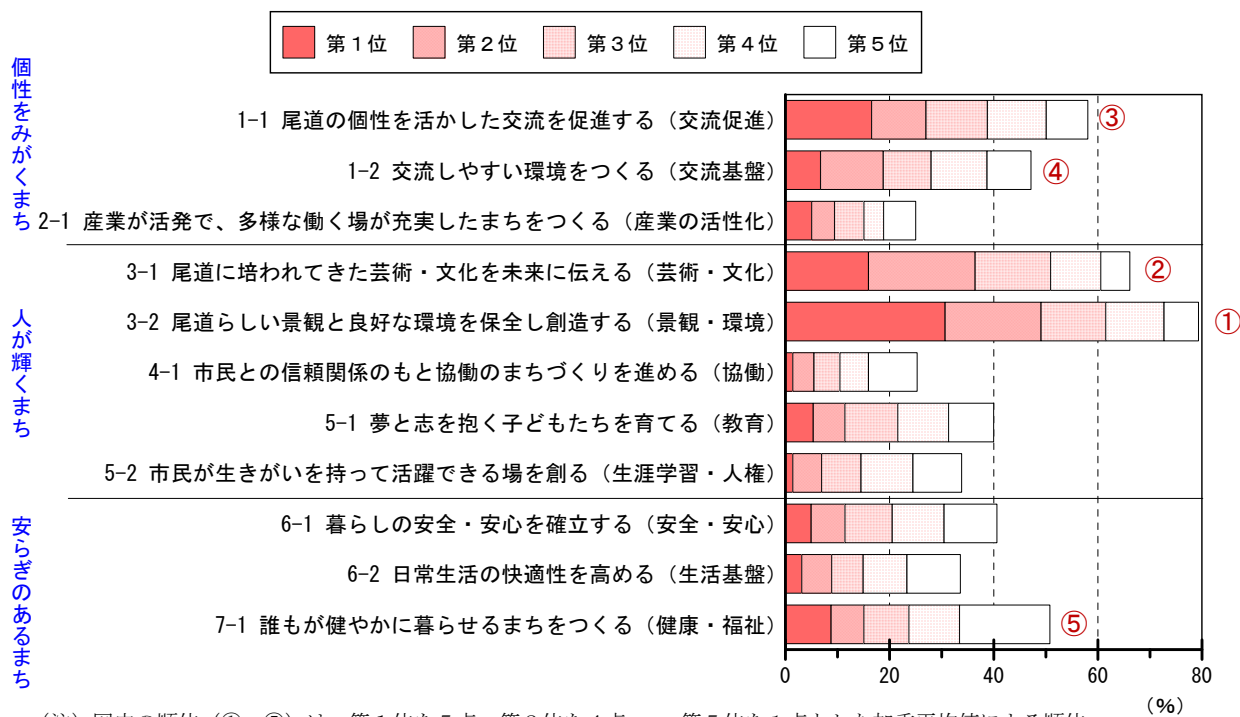
#### (1) 過去5年間の取組の成果に対する評価

尾道市では、『活力あふれ感性息づく芸術文化のまち尾道』というまちづくりのテーマのもと、「個性をみがくまち」「人が輝くまち」「安らぎのあるまち」の3つの都市像を掲げ、それらを具体的に推進するための11の政策目標を設定しています。

これらの11の政策目標について、過去5年間で取組が進んだ（成果を上げた）と思われるもの上位5つを挙げていただきました。

「景観・環境」や「芸術・文化」、「交流促進」、「交流基盤」など、尾道市の歴史や地域特性を活かした取組が高い評価を得ています。一方、「協働」や「産業の活性化」、「生涯学習・人権」などについては、相対的に評価が低くなっています。

過去5年間で政策目標の取組成果に対する評価



(注) 図中の順位 (①～⑤) は、第1位を5点、第2位を4点、…第5位を1点とした加重平均値による順位

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
1-1 尾道の個性を活かした交流を促進する (交流促進)	16.5	10.5	11.8	11.3	8.0
1-2 交流しやすい環境をつくる (交流基盤)	6.8	12.0	9.2	10.8	8.4
2-1 産業が活発で、多様な働く場が充実したまちをつくる (産業の活性化)	5.0	4.4	5.6	3.8	6.2
3-1 尾道に培われてきた芸術・文化を未来に伝える (芸術・文化)	15.9	20.5	14.5	9.6	5.6
3-2 尾道らしい景観と良好な環境を保全し創造する (景観・環境)	30.7	18.4	12.4	11.2	6.6
4-1 市民との信頼関係のもと協働のまちづくりを進める (協働)	1.4	4.1	5.0	5.5	9.4
5-1 夢と志を抱く子どもたちを育てる (教育)	5.3	6.1	10.2	9.7	8.7
5-2 市民が生きがいを持って活躍できる場を創る (生涯学習・人権)	1.4	5.5	7.6	10.0	9.4
6-1 暮らしの安全・安心を確立する (安全・安心)	4.9	6.5	9.1	10.0	10.2
6-2 日常生活の快適性を高める (生活基盤)	3.1	5.8	6.1	8.4	10.3
7-1 誰もが健やかに暮らせるまちをつくる (健康・福祉)	8.8	6.3	8.6	9.7	17.4

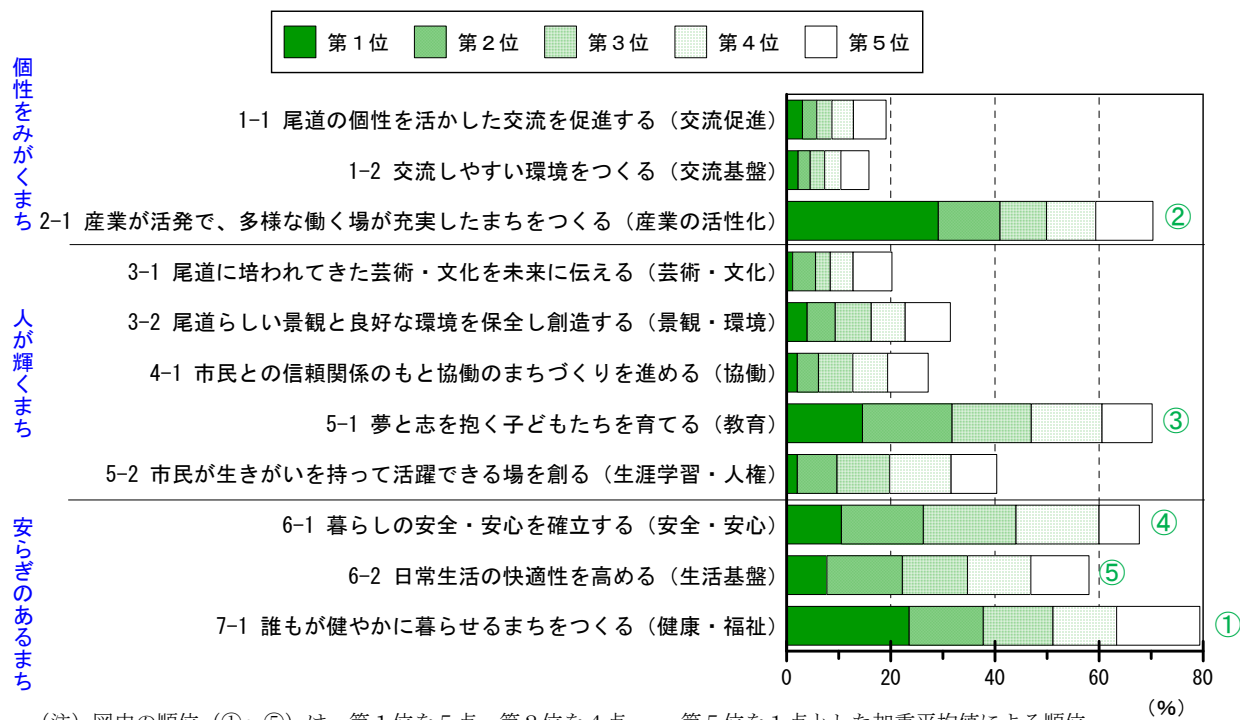
## (2) 今後5年間の取組の重要性に対する評価

(1) で見た11の政策目標について、今後5年間で取組が重要と思われるもの上位5つを挙げていただきました。

「健康・福祉」や「産業の活性化」、「教育」、「安全・安心」などが上位に挙げられています。高齢化の進行や東日本大震災の発生を背景に、「安らぎのあるまち」に関わる政策目標が重視されているのが特徴的です。また、「産業の活性化」や「教育」など、(1) で評価が低い項目も重視されており、更なる取組が必要と考えられます。

一方、「景観・環境」や「芸術・文化」などは、相対的に低い順位付けとなっています。これらは、(1) で高い評価を得ており、おおむね市民が満足する水準に達しつつあるものと思われるのですが、本市の特長となるものであり、引き続き高い評価を得られるよう努力すべきものと考えられます。

今後5年間の政策目標の取組の重要性に対する評価



(注) 図中の順位 (①～⑤) は、第1位を5点、第2位を4点、…第5位を1点とした加重平均値による順位

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
1-1 尾道の個性を活かした交流を促進する (交流促進)	3.0	2.7	2.9	4.1	6.3
1-2 交流しやすい環境をつくる (交流基盤)	2.2	2.3	2.8	3.1	5.4
2-1 産業が活発で、多様な働く場が充実したまちをつくる (産業の活性化)	29.1	11.8	8.9	9.5	11.0
3-1 尾道に培われてきた芸術・文化を未来に伝える (芸術・文化)	1.2	4.4	2.8	4.4	7.5
3-2 尾道らしい景観と良好な環境を保全し創造する (景観・環境)	4.0	5.4	6.9	6.5	8.7
4-1 市民との信頼関係のもと協働のまちづくりを進める (協働)	2.1	4.1	6.6	6.7	7.8
5-1 夢と志を抱く子どもたちを育てる (教育)	14.6	17.2	15.2	13.6	9.6
5-2 市民が生きがいを持って活躍できる場を創る (生涯学習・人権)	2.1	7.6	10.1	11.8	8.8
6-1 暮らしの安全・安心を確立する (安全・安心)	10.5	15.7	17.8	15.9	7.7
6-2 日常生活の快適性を高める (生活基盤)	7.7	14.5	12.5	12.2	11.2
7-1 誰もが健やかに暮らせるまちをつくる (健康・福祉)	23.5	14.2	13.4	12.2	16.0

## 4. 施策目標に関する評価

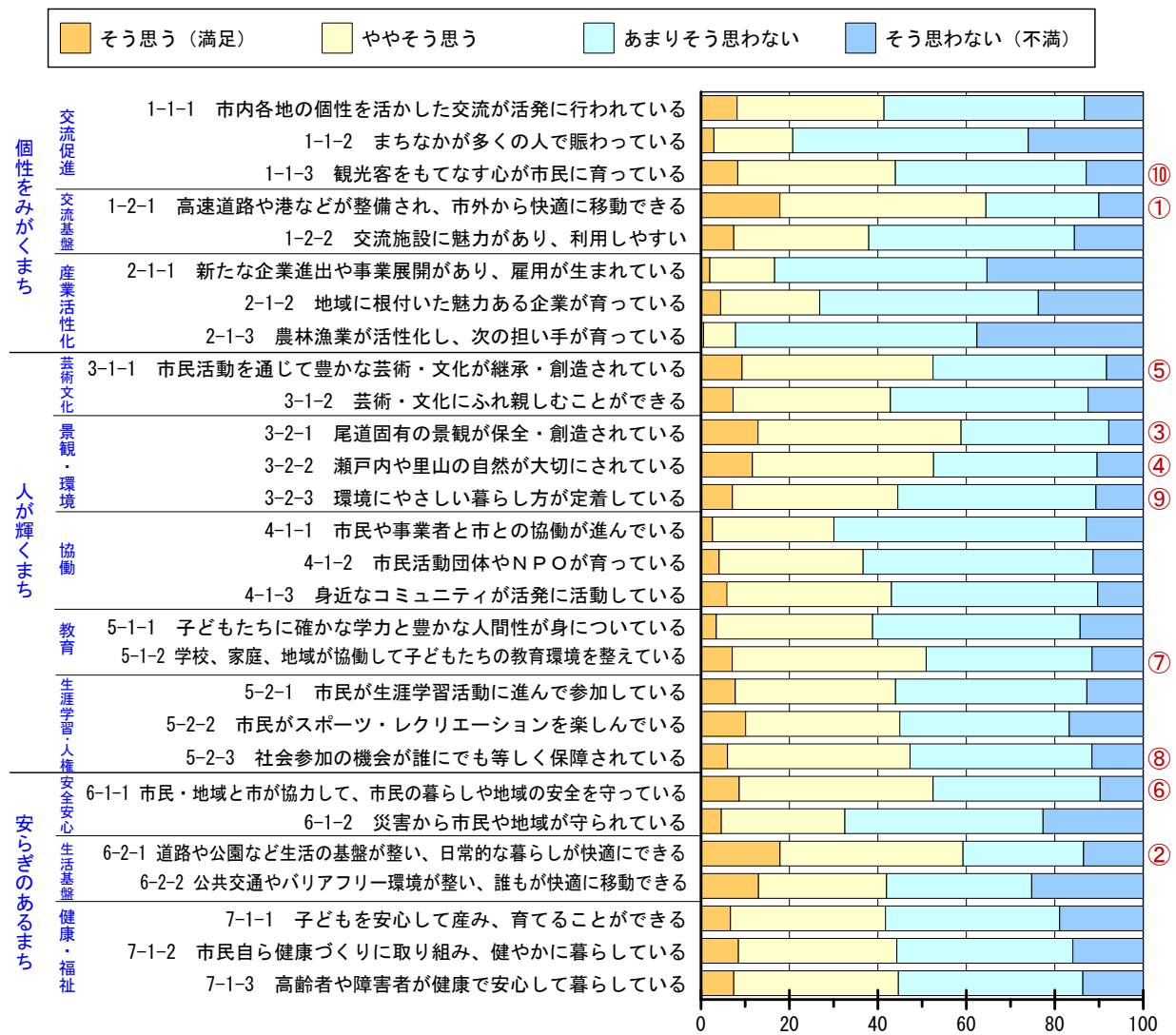


### (1) 現状の満足度評価

尾道市の総合計画では、具体的な取組を進めるに当たって、前項の11の政策目標を具体化した28の「施策目標」を掲げています。これらの施策目標について、現状の満足度を4段階で評価していただいたのが下のグラフです。

政策目標で評価が高かった「景観・環境」や「芸術・文化」、「交流基盤」などについては、施策目標レベルでも比較的高い満足度が得られています。一方、相対的に評価が低かった「産業の活性化」では、「2-1-3 農林漁業の活性化」や「2-1-1 雇用の場の確保」など、施策目標レベルでも不満足層が多くを占めています。そのほか「1-1-2 まちなかの賑わい」、「6-1-2 地域の災害対策」、「4-1-1 市民や事業者との協働」などについて、不満足層が多く見受けられます。

施策目標に関する満足度（現状の評価）



(注) 図中の順位(①～⑩)は、「そう思う」を2点、「ややそう思う」を1点、「あまりそう思わない」を-1点、「そう思わない」を-2点として算出した加重平均値による順位

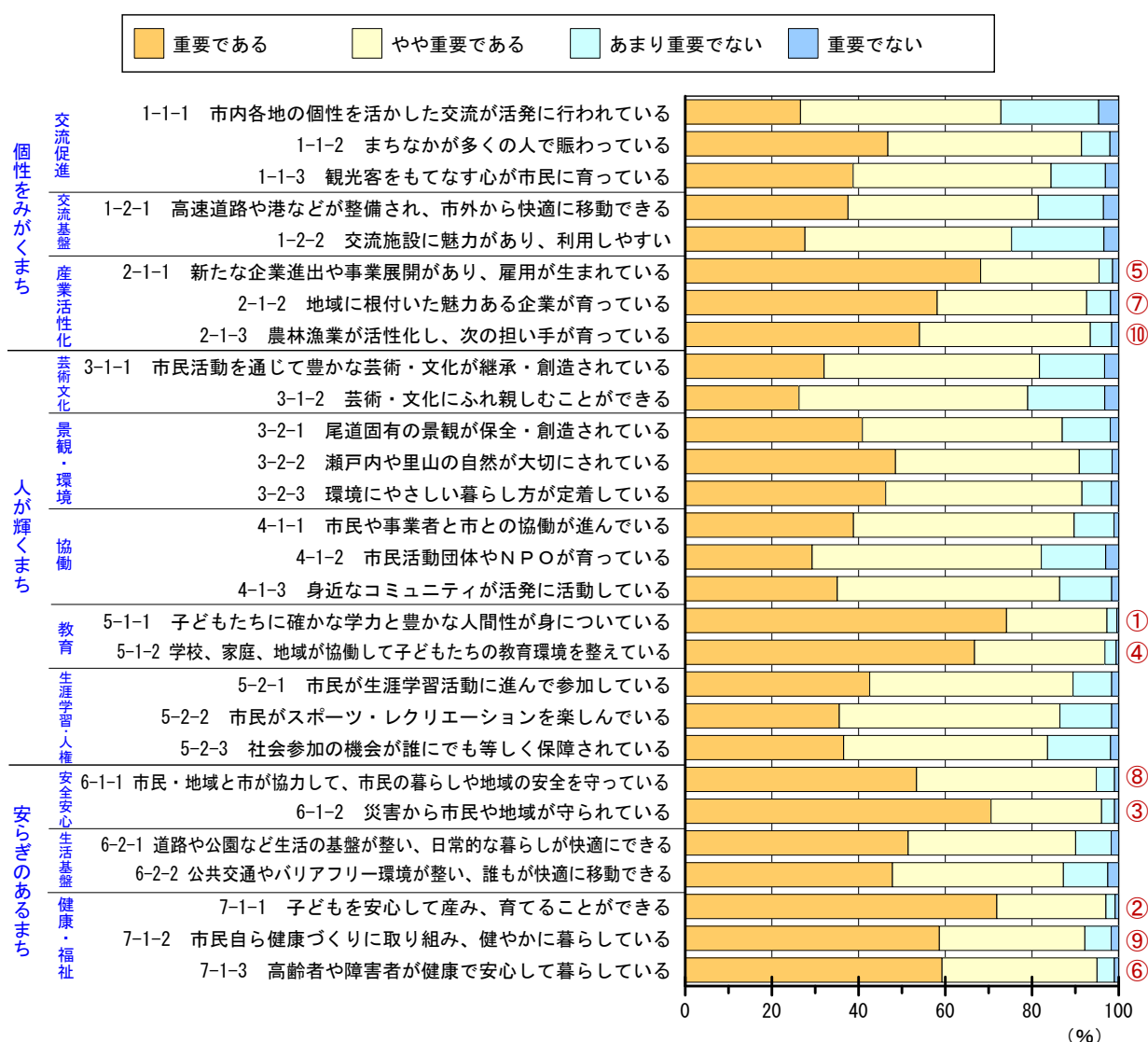
## (2) 今後の取組の重要性に対する評価

(1) で見た 28 の施策目標について、今後の重要度を 4 段階で評価していただいたのが下のグラフです。

政策目標で上位に挙げられていた「健康・福祉」、「産業の活性化」、「教育」、「安全・安心」関連などが、施策目標レベルでも重要度の高い取組として挙げられています。特に、「5-1-1 子どもたちの学力・人間性」や「7-1-1 出産・子育て」、「5-1-2 子どもの教育環境」の重要度が高く評価されており、少子化が進む中で、市としての具体的な対応策の強化が求められています。

そのほか、「6-1-2 地域の災害対策」、「2-1-1 雇用の場の確保」、「7-1-3 高齢者や障害者の健康」といった施策目標の重要度が高く評価されています。

施策目標に関する重要度（今後の重要性評価）



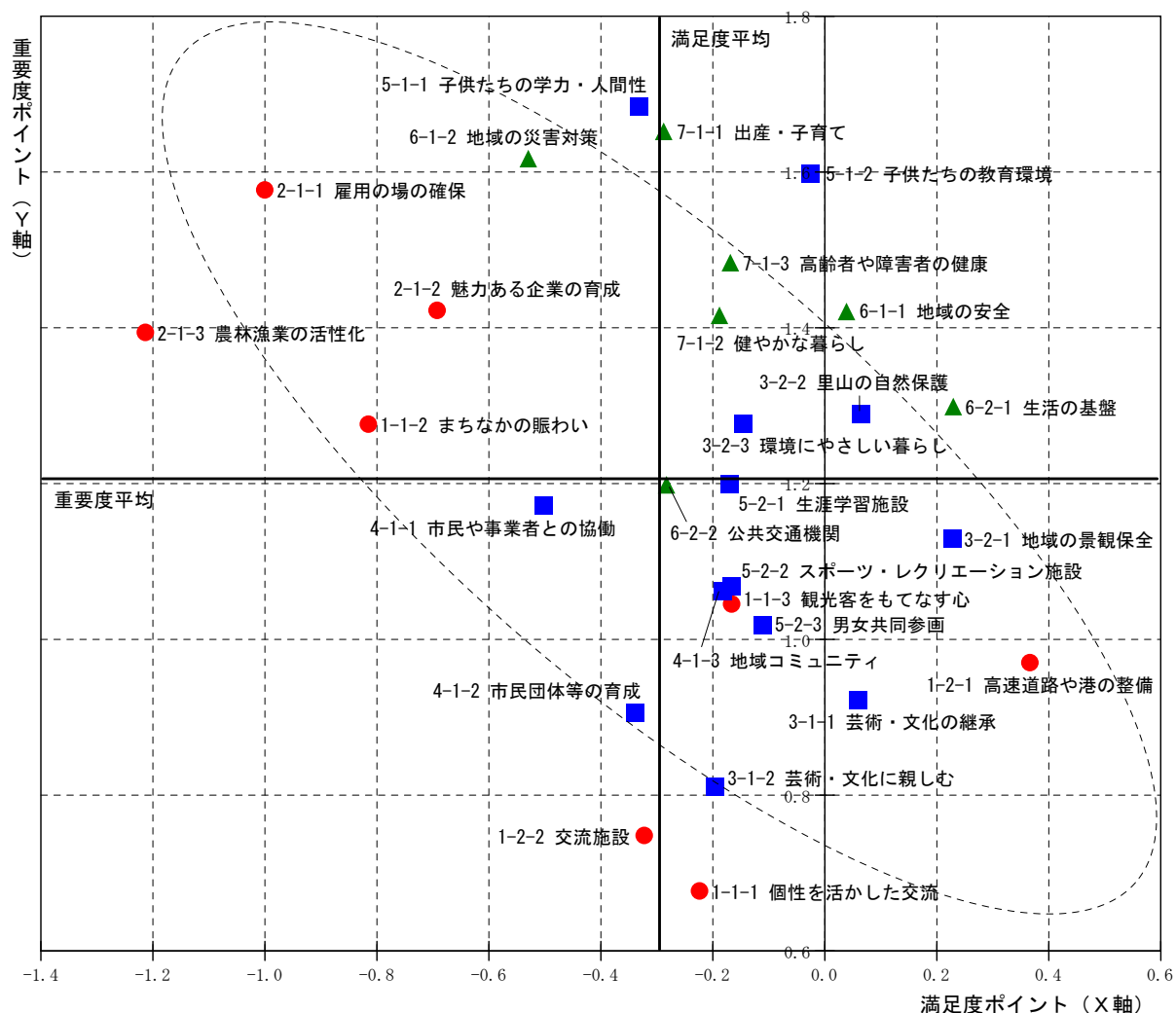
(注) 図中の順位 (①～⑩) は、「そう思う」を 2 点、「ややそう思う」を 1 点、「あまりそう思わない」を -1 点、「そう思わない」を -2 点として算出した加重平均値による順位

### (3) 満足度と重要度の対比分析

28の施策目標について、(1)で現状の満足度、(2)で今後の重要度に関する評価を見ましたが、それらを合わせて見比べるため、満足度を横軸に、重要度を縦軸に取って各施策目標の評価の分布を示したのが下のグラフです。右側に行くほど満足度が高く、上側に行くほど重要度が高いことを示しています。

多くの項目が、図中の右肩下がりのトレンド（点線の楕円枠）の中に位置しており、現状で満足度の低い項目は今後の重要性が高く、ある程度満足度の高い項目は相対的に今後の重要性が低い傾向が見受けられます。現状の満足度が低く、今後の重要性が高いのは、「産業の活性化」関連の項目が中心となっています。反対に、ある程度満足度が高く、充足しているのは「芸術・文化」や「交流」関連などとなっています。そうした中で、「5-1-2 子どもたちの教育環境」や「安らぎのあるまち」に関連した項目については、現状の満足度がある程度確保されている中で、今後についてもより一層の取組の強化が求められていることが確認できます。

施策目標の満足度・重要度（加重平均点）の分布



(注) ● : 「個性をみがくまち」の施策目標    ■ : 「人が輝くまち」の施策目標    ▲ : 「安らぎのあるまち」の施策目標  
 満足度ポイント : 「そう思う」 2点、「ややそう思う」 1点、「あまりそう思わない」 -1点、「そう思わない」 -2点で算出  
 重要度ポイント : 「重要である」 2点、「やや重要である」 1点、「あまり重要でない」 -1点、「重要でない」 -2点で算出

## 5. 住所別の満足度

4(1)で施策目標に対する回答者全体の満足度を見ましたが、ここではアンケートで把握した全39項目について、回答者の住所別に満足度を示しました。なお、各項目の並びは、アンケートでの設問順になっています。

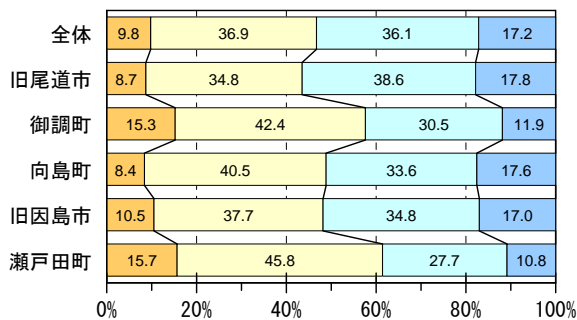
※グラフの凡例は次のとおりです(共通)

① ② ③ ④  
 そう思う(満足) ややそう思う(満足) あまりそう思わない(不満) そう思わない(不満)

※コメント欄の「全体の満足度」は「①」と「②」の合計値

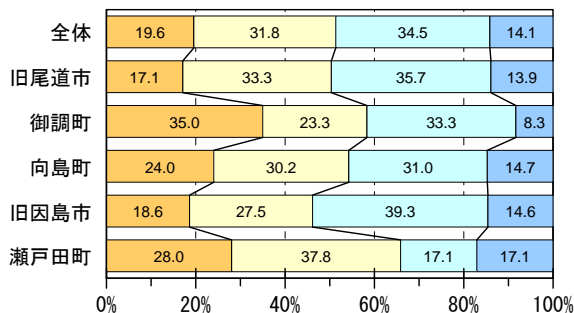
### (1) 身近な道路を安全に通行できる

- 全体の満足度：46.7%
- 御調町、瀬戸田町で満足度がやや高くなっています。



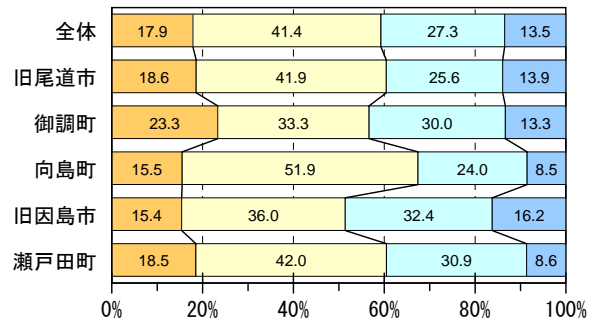
### (2) 身近なところで緑や水辺に親しめる

- 全体の満足度：51.4%
- 道路と同様、御調町、瀬戸田町で満足度がやや高くなっています。



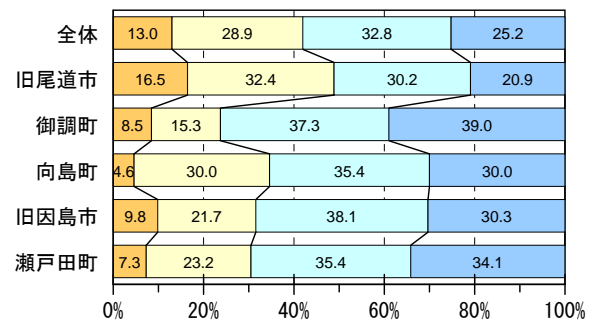
### (3) 生活の基盤が整い、日常的な暮らしが快適にできる

- 全体の満足度：59.3%
- 向島町でやや高く、旧因島市でやや低くなっています。



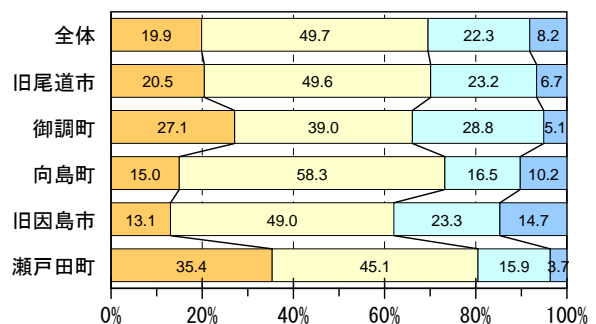
### (4) 公共交通機関(鉄道、バス、航路)が利用しやすい

- 全体の満足度：41.9%
- 旧尾道市とその他の旧市町との間で、満足度にやや開きが見られます。



### (5) 安全で使いやすい高速道路や港が整備されている

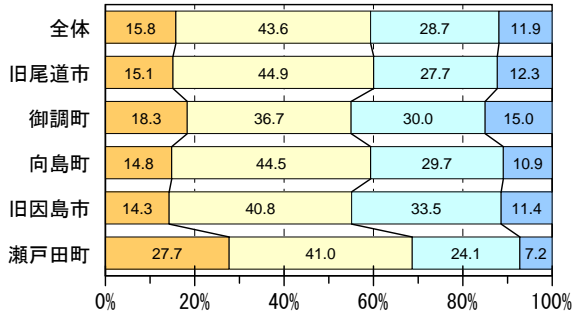
- 全体の満足度：69.6%
- 全体的に満足度が高い項目ですが、特に瀬戸田町では満足度が高くなっています。





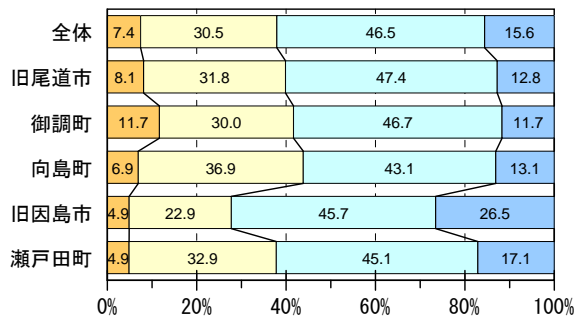
(6) 国道や県道が整備されて、走行しやすい

- 全体の満足度：59.4%
- 全体的に「高速道路や港」と同様の傾向で、瀬戸田町の満足度がやや高くなっています。



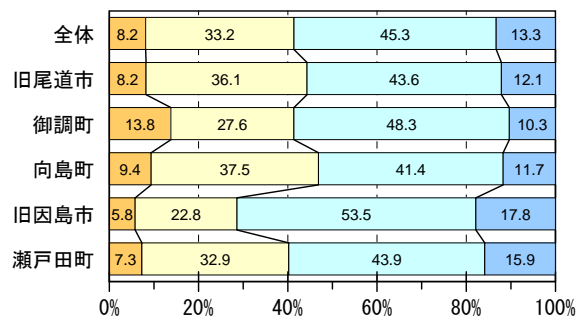
(7) 交流施設に魅力があり、利用しやすい

- 全体の満足度：37.9%
- 旧因島市の満足度がやや低くなっています。その他の地域はほぼ同水準の満足度です。



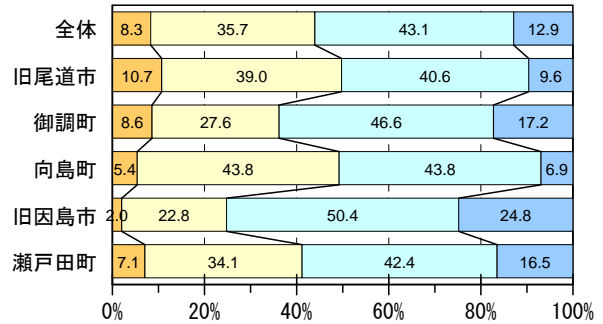
(8) 市内各地の個性を活かした交流が活発に行われている

- 全体の満足度：41.4%
- 「交流施設」と同様、旧因島市で満足度がやや低くなっています。



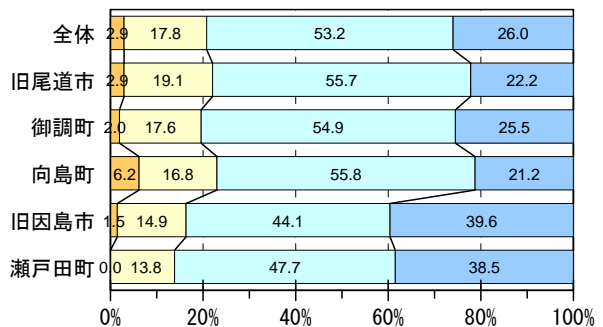
(9) 観光客をもてなす心が市民に育っている

- 全体の満足度：44.0%
- 大きな地域差が見られます。旧尾道市や向島町で高く、旧因島市で低くなっています。



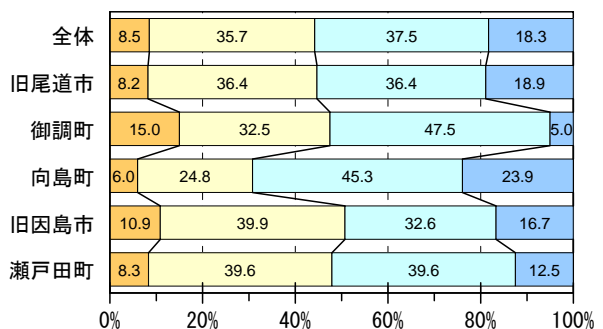
(10) 地域のまちなか（中心市街地）が賑わっている

- 全体の満足度：20.7%
- 全体的に満足度が低い項目です。瀬戸田町や旧因島市で相対的に低くなっています。



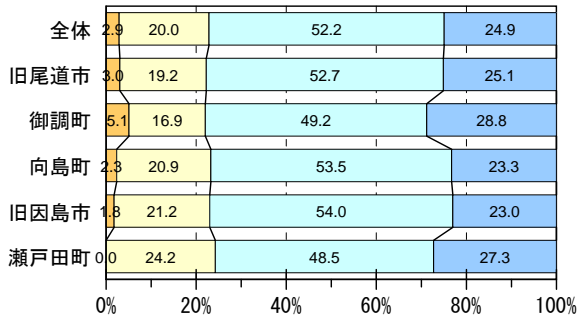
(10)①旧尾道市のまちなか（尾道駅・本通り・海岸通り周辺）が賑わっている

- 全体の満足度：44.2%
- 他地域に比べ、向島町で満足度がやや低いのが目立ちます。



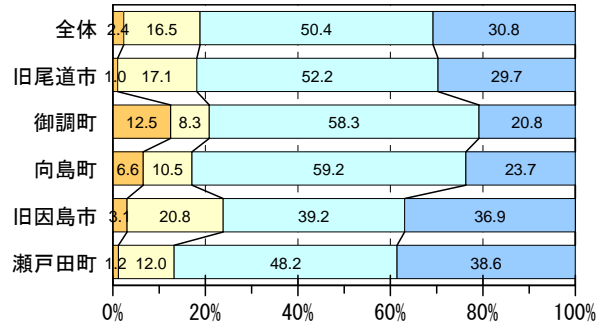
(10)②御調町のまちなか（国道 184 号・486 号交差点周辺）が賑わっている

- 全体の満足度：22.9%
- 全体的に満足度が低い項目ですが、地域差はほとんどありません。



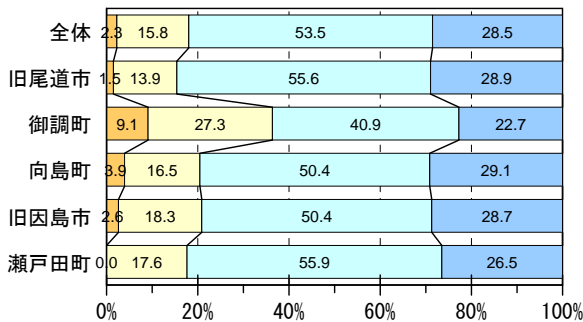
(10)⑤瀬戸田町のまちなか（瀬戸田・沢地区）が賑わっている

- 全体の満足度：18.9%
- 自地域である瀬戸田町で、満足度がやや低くなっています。



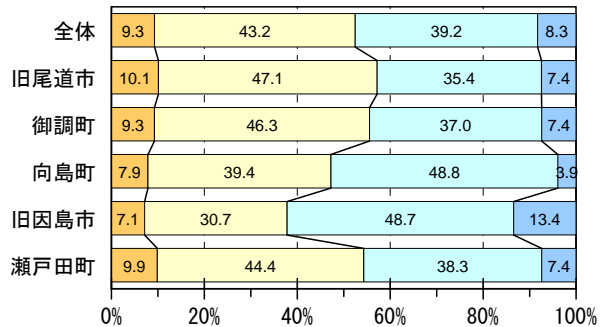
(10)③向島町のまちなか（国道 317 号周辺[兼吉・富浜]）が賑わっている

- 全体の満足度：18.1%
- 「向島町」のまちなかですが、御調町で満足度が相対的に高いのが目立ちます。



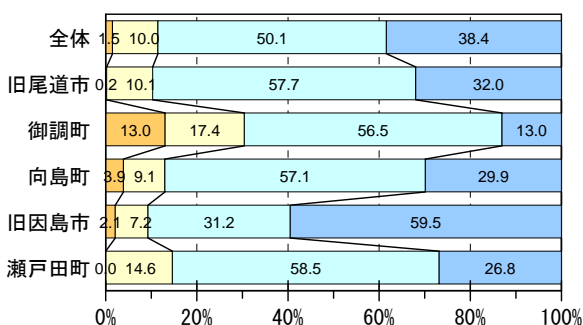
(11)市民活動を通じて豊かな芸術・文化が継承・創造されている

- 全体の満足度：52.5%
- 旧因島市で満足度がやや低いのが目立ちます。



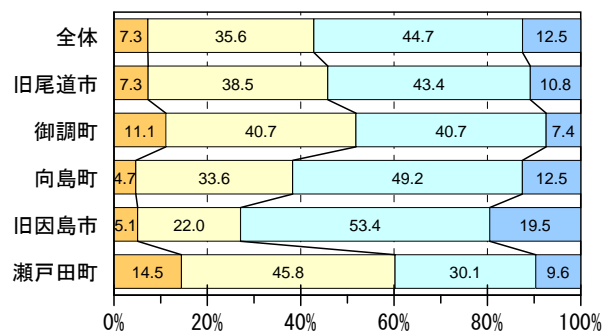
(10)④旧因島市のまちなか（土生地区）が賑わっている

- 全体の満足度：11.5%
- 自地域である旧因島市で、「そう思わない」という不満層が多いのが目立ちます。



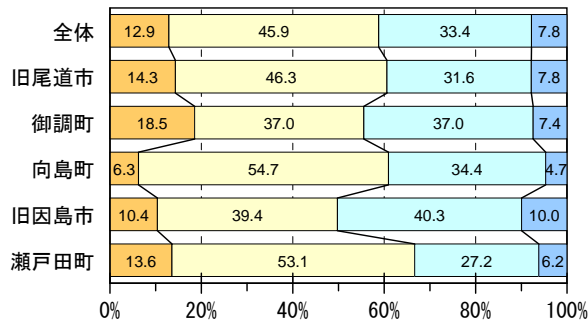
(12)芸術・文化にふれ親しむことができる

- 全体の満足度：42.9%
- 地域差が比較的大きくなっています。瀬戸田町で高く、旧因島市で低くなっています。



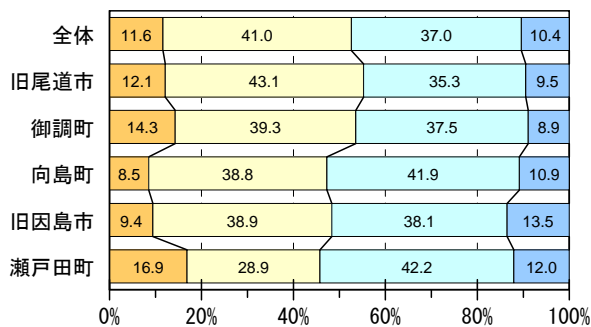
### (13) 地域の景観が良好に保全・形成されている

- 全体の満足度：58.8%
- 瀬戸田町でやや高く、旧因島市でやや低くなっています。



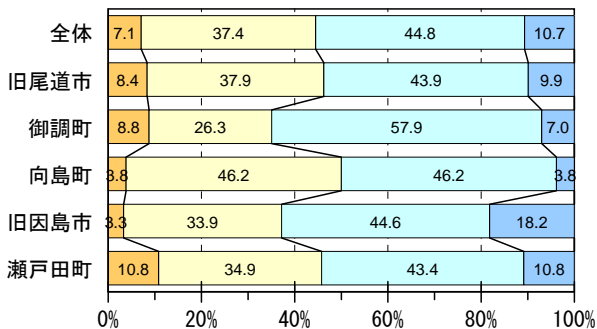
### (14) 瀬戸内や里山の自然が大切にされている

- 全体の満足度：52.6%
- 全体的に満足度の地域差はそれほど大きくありません。



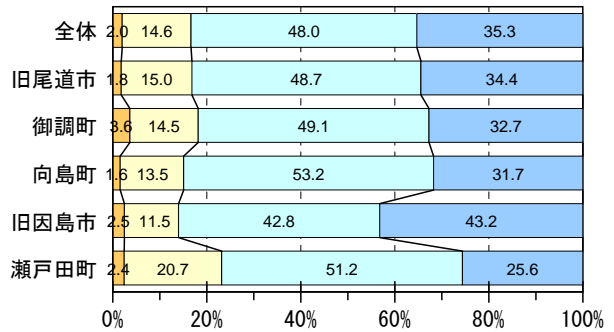
### (15) 環境に優しい暮らし方が定着している

- 全体の満足度：44.5%
- 向島町でやや高く、御調町や旧因島市でやや低くなっています。



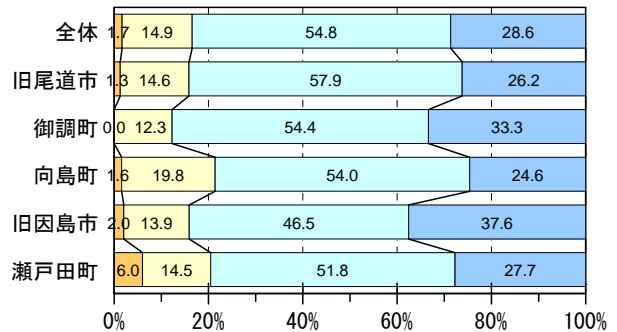
### (16) 雇用の場が確保・創出されている

- 全体の満足度：16.6%
- 旧因島市で「そう思わない」という不満足層がやや多くなっています。



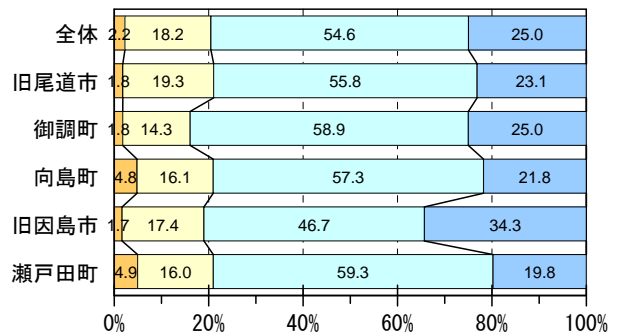
### (17) 地域の産業が活性化している

- 全体の満足度：16.6%
- 旧因島市、御調町でやや満足度が低くなっています。



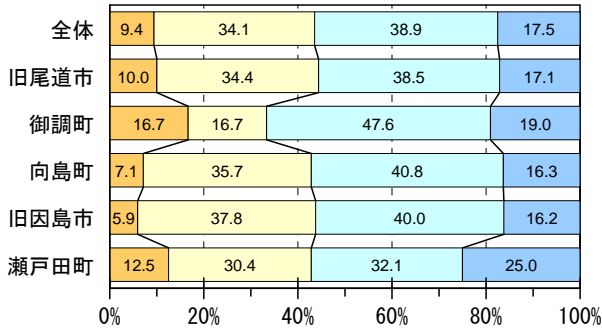
### (18) 新しい事業の展開が進んでいる

- 全体の満足度：20.4%
- 「雇用」と同様、旧因島市で「そう思わない」という不満足層がやや多くなっています。



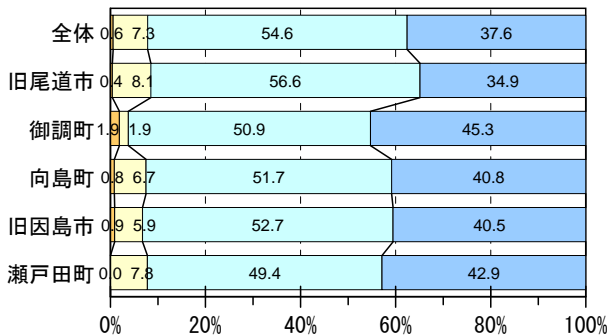
(19) 自分が働いている職場の環境がよい

- 全体の満足度：43.5%
- 御調町では相対的に「やや満足」が少なく、「やや不満」が多くなっています。



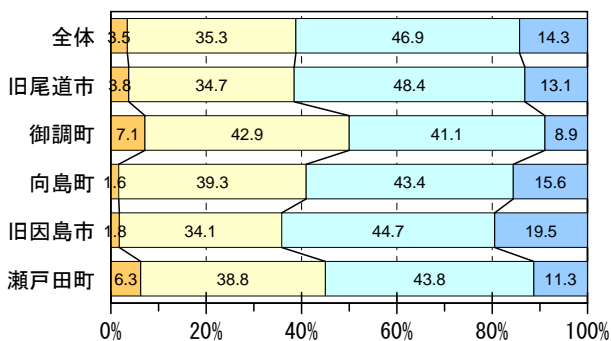
(20) 農林漁業が活性化し、次の担い手が育っている

- 全体の満足度：7.9%
- 全体的に満足度が低い項目ですが、特に御調町では満足度が低くなっています。



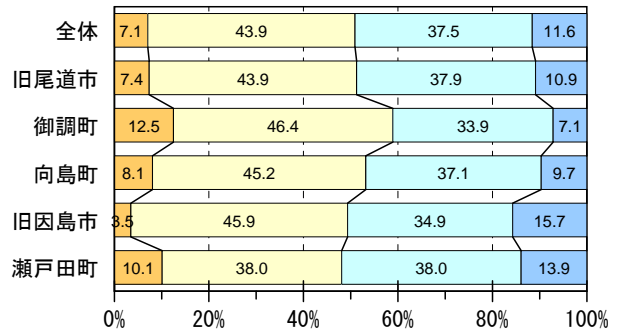
(21) 子どもたちに確かな学力と豊かな人間性が身についている

- 全体の満足度：38.8%
- 御調町、瀬戸田町で相対的に満足度がやや高くなっています。



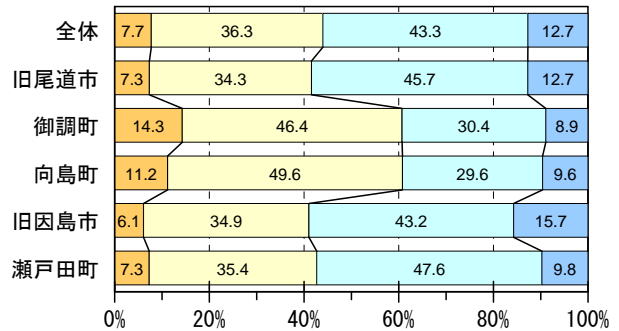
(22) 学校、家庭、地域が協働して子どもたちの教育環境を整えている

- 全体の満足度：51.0%
- 御調町でやや満足度が高いですが、全体的に大きな地域差は見られません。



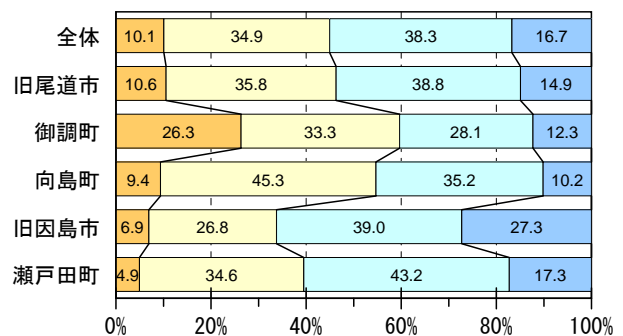
(23) 利用しやすい生涯学習施設が整備されている

- 全体の満足度：44.0%
- 他地域に比べ、御調町と向島町の満足度が高いが目立ちます。



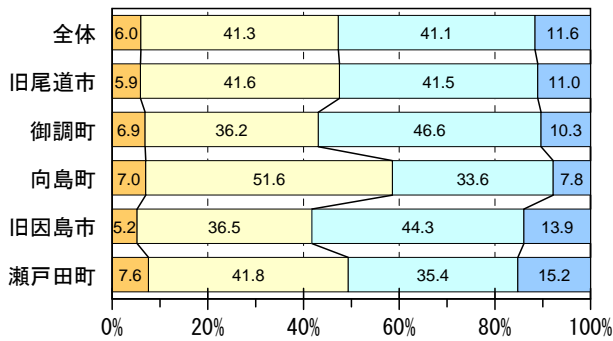
(24) 利用しやすいスポーツ・レクリエーション施設が整備されている

- 全体の満足度：45.0%
- 御調町の満足度の高さが目立ちます。旧因島市では満足度が低くなっています。



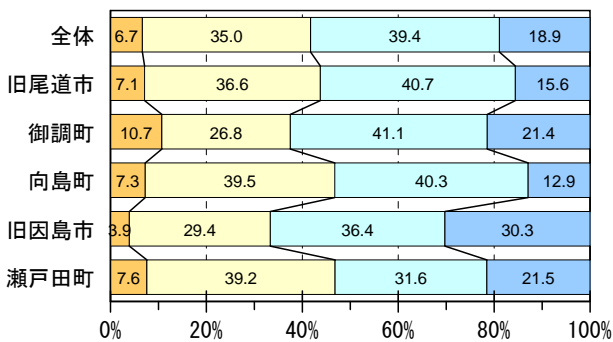
(25) 人権が尊重され、男女共同参画が進んでいる

- 全体の満足度：47.3%
- 向島町でやや満足度が高くなっています。他地域の満足度はほぼ同水準です。



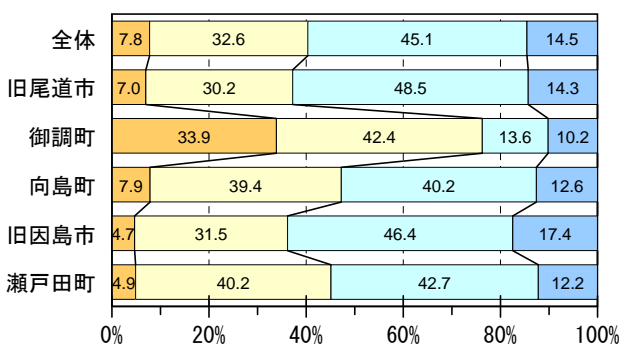
(26) 子どもを安心して産み、育てることができる

- 全体の満足度：41.7%
- 向島町、瀬戸田町で満足度がやや高く、旧因島市でやや低くなっています。



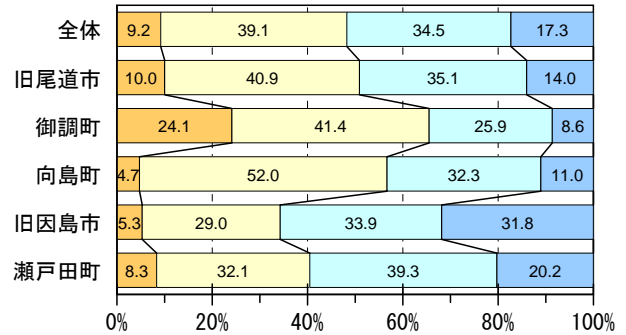
(27) 食生活や運動など健康づくりに対する支援が充実している

- 全体の満足度：40.4%
- 他地域に比べ、御調町の満足度が大幅に高いのが目立ちます。



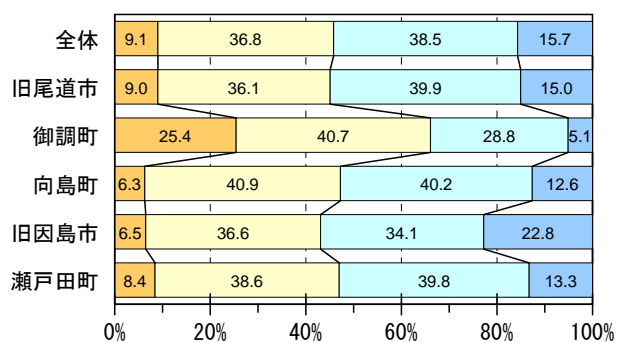
(28) 医療体制やサービスが充実している

- 全体の満足度：48.3%
- 御調町で満足度が高くなっています。旧因島市では不満足層が多くを占めています。



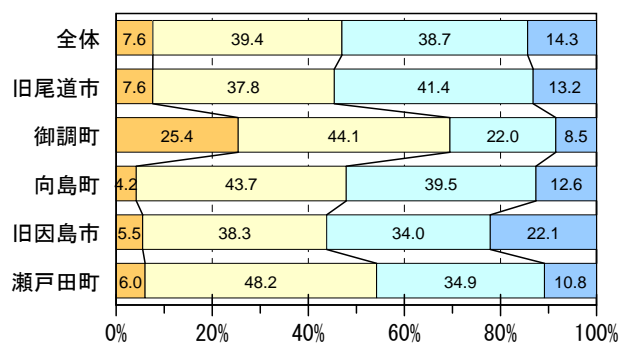
(29) 高齢者が地域社会でいきいきと暮らしている

- 全体の満足度：45.9%
- 他地域に比べ、御調町で満足度が高くなっています。



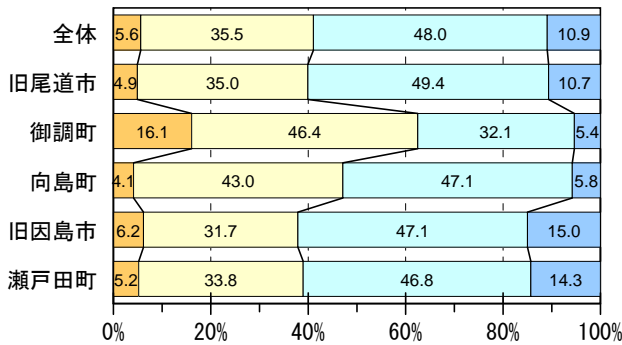
(30) ニーズに応じた介護サービスが提供されている

- 全体の満足度：47.0%
- 前項と同様、他地域に比べて御調町で満足度が高くなっています。



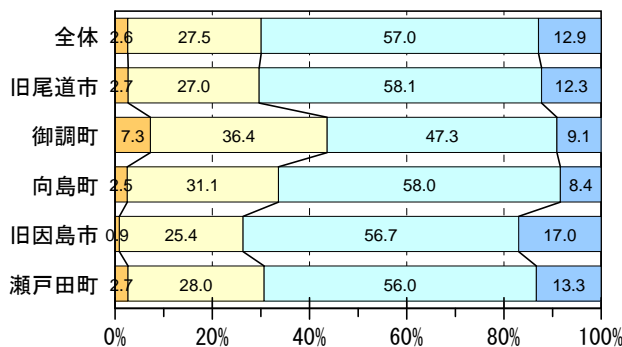
(31) 障害者の社会参加や福祉サービスが推進されている

- 全体の満足度：41.1%
- 他の医療・福祉関連の項目と同様、御調町の満足度が高くなっています。



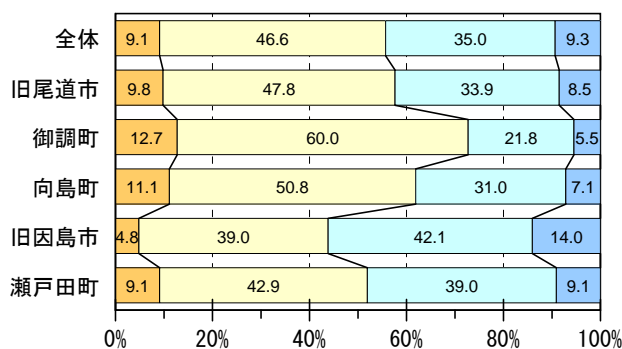
(32) 市民や事業者と市との協働が進んでいる

- 全体の満足度：30.1%
- 御調町の満足度がやや高くなっています。他の地域はほぼ同水準です。



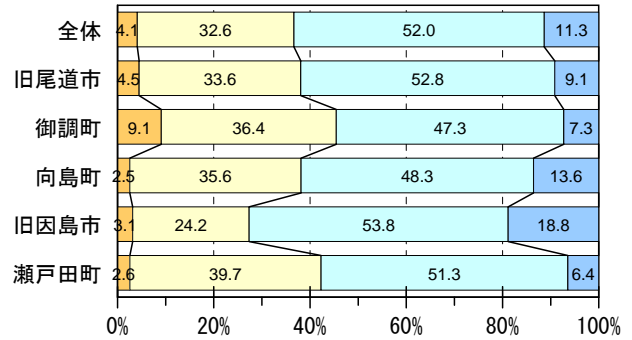
(33) 行政情報の広報、情報公開が進んでいる

- 全体の満足度：55.7%
- 御調町で満足度がやや高く、旧因島市でやや低くなっています。



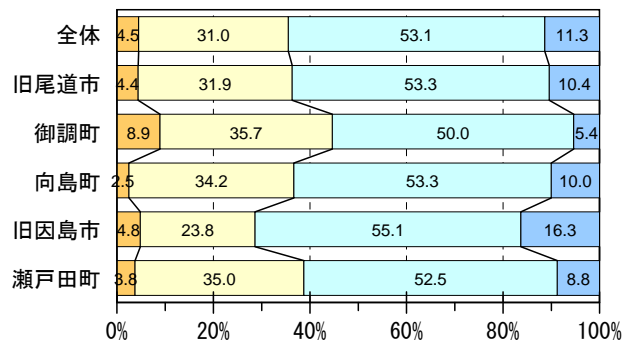
(34) 市民活動団体やNPOが育っている

- 全体の満足度：36.7%
- 御調町で満足度がやや高く、旧因島市でやや低くなっています。



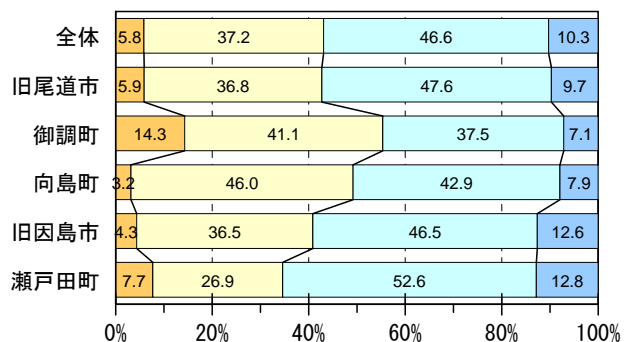
(35) まちづくり活動や行政への市民参加が進んでいる

- 全体の満足度：35.5%
- 前項の「市民活動団体・NPO」とほぼ同様の水準・傾向です。



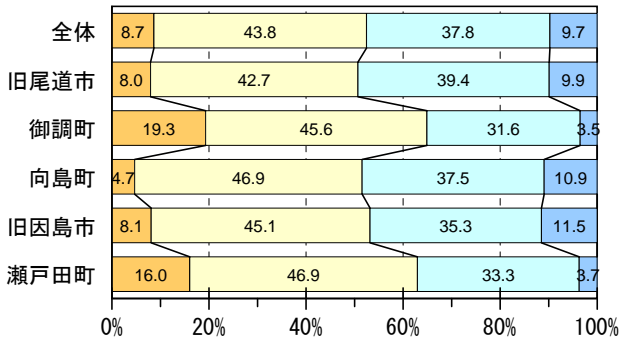
(36) 地域コミュニティが良好に保たれている

- 全体の満足度：43.0%
- 御調町で満足度がやや高く、瀬戸田町でやや低くなっています。



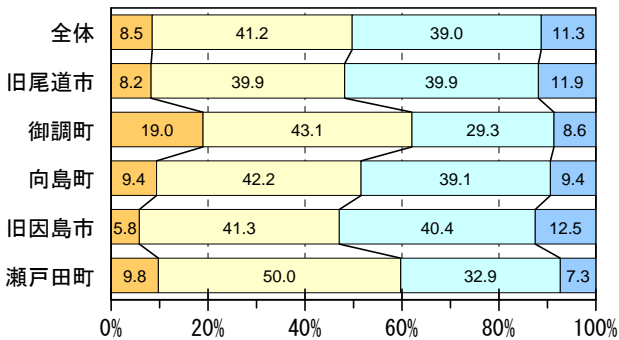
(37) 市民・地域と市が協力して、市民の暮らしや地域の安全を守っている

- 全体の満足度：52.5%
- 御調町、瀬戸田町の満足度がやや高くなっています。



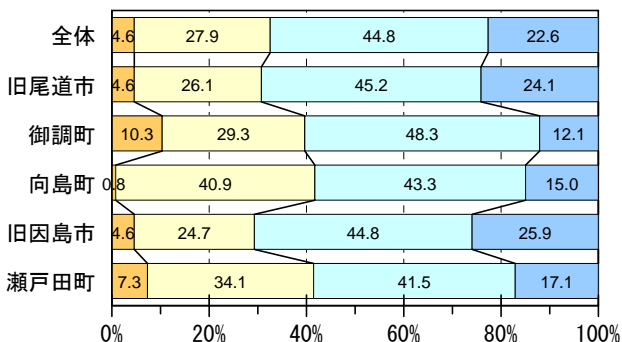
(38) 安心して消費生活を送れている

- 全体の満足度：49.7%
- 前項とほぼ同様の傾向で、御調町、瀬戸田町の満足度がやや高くなっています。



(39) 地域の災害対策が進んでいる

- 全体の満足度：32.5%
- 旧因島市で満足度がやや低くなっています。



## 6. 総合計画の目標達成度

尾道市の総合計画では、各政策目標に向けた着実な取組を図るため、それらの達成度を測る指標（達成度指標）を設けています。今回の調査で把握した達成度指標の数値を一覧表に整理すると、下表のようになります。平成21年度調査の数値と比べると、26項目のうち、約6割の15項目で満足度が上昇しています。

達成度指標（市民満足度調査分）の現状（「満足+やや満足」の割合）

政策目標	達成度指標	平成21年度	平成23年度	
1-1 交流促進	まちなかの賑わい	旧尾道市のまちなかが賑わっている	22.8%	44.2%
		御調町のまちなかが賑わっている	24.1%	22.9%
		向島町のまちなかが賑わっている	26.7%	18.0%
		旧因島市のまちなかが賑わっている	12.0%	11.5%
		瀬戸田町のまちなかが賑わっている	19.4%	18.9%
1-2 交流基盤	国道や県道が整備されて、走行しやすい	57.7%	59.4%	
2-1 産業の活性化	雇用の場が確保・創出されている	21.3%	16.7%	
	地域の産業が活性化している	14.0%	16.6%	
	新しい事業の展開が進んでいる	16.0%	20.5%	
	自分が働いている職場の環境がよい	44.4%	43.5%	
3-2 景観・環境	地域の景観が良好に保全・形成されている	51.0%	58.8%	
4-1 協働	地域コミュニティが良好に保たれている	42.8%	43.1%	
	まちづくり活動や行政への市民参加が進んでいる	34.6%	35.5%	
	行政情報の広報、情報公開が進んでいる	59.7%	55.7%	
5-2 生涯学習・人権	利用しやすい生涯学習施設が整備されている	45.5%	44.0%	
	利用しやすいｽｰｯ・ﾚｸﾞﾈｰｼﾞｮﾝ施設が整備されている	50.9%	45.0%	
	人権が尊重され、男女共同参画が進んでいる	42.2%	47.3%	
6-1 安全・安心	安心して消費生活を送れている	41.1%	49.7%	
	地域の災害対策が進んでいる	29.8%	32.5%	
6-2 生活基盤	身近な道路を安全に通行できる	41.3%	46.7%	
	身近なところで緑や水辺に親しめる	50.7%	51.3%	
	公共交通機関（鉄道、バス、航路）が利用しやすい	38.6%	42.0%	
7-1 健康・福祉	食生活や運動など健康づくりに対する支援が充実している	39.7%	40.3%	
	医療体制やサービスが充実している	50.2%	48.2%	
	ニーズに応じた介護サービスが提供されている	44.1%	47.0%	
	障害者の社会参加や福祉サービスが推進されている	42.4%	41.1%	

- (注) 1. 表中の数値は、「そう思う（満足）」と「ややそう思う」の割合の合計値。  
2. 平成23年度の青字は平成21年度より上昇した数値、赤字は低下した数値を示す。

平成23年度 尾道市総合計画後期基本計画  
市民満足度調査の結果（概要版）

発行 尾道市政策企画課（平成23年9月）  
〒722-8501 尾道市久保一丁目15番1号  
電話 0848-25-7316 F A X 0848-37-2740